

単元名

「阿品のすてき」 ～ふるさとのすてきを見つけよう～

【関連のある SDGs の目標】



【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）
◎ふるさとの素敵って何だろう。

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）
●廿日市のすてきって何だろう。

【単元の目標】

自分達の住む阿品地域や廿日市のすてきな所を発見したり、ふるさとで生きていく良さを考えたりする。それを保護者や地域の方に発信する活動を通して、地域に親しみを持ち、地域に関わろうとする態度を育てる。

【連携諸機関・人物】

- ・市役所（プロモーション戦略課）
- ・株式会社ジブソハット キャリア教育デザイナー大野圭司さん
- ・大長なす生産者 阿部勝也さん
- ・廿日市市木材利用センター

活動の概要

阿品地域にある自分のおすすめの場所を調べ、リーフレットにして紹介した。
キャリア教育デザイナーの方に「ふるさとで生きる面白さ」について話をしてもらったり、大長なす生産者の方の話を聞いたり、木材利用センターでけん玉のつくり方等を見学し、廿日市について親しみをもった。
学習したことを Google スライドにまとめ、保護者や地域の方に発信した。

★アピールポイント★

- ・活動の特色 ・授業展開や学習形態、教材等の工夫 ・地域人材、財産等の活用
- ・児童生徒の心を揺さぶる仕掛け ・他教科等との関連 ・ICTの効果的な活用 等



＜「ふるさとで生きる面白さ」について考える＞ ＜大長なす生産者の方との交流＞ ＜Google スライドを使った発表＞

- ・キャリア教育デザイナーの大野さんから「ふるさとで生きる面白さ」について話してもらい、自分が将来廿日市や阿品で働く姿を思い描いた。
- ・大長なす生産者の方から、野菜を生産する苦労や楽しさ、意義等を話してもらい、自分たちの食を支えている人々の存在を認識した。
- ・国語科「案内の手紙を書こう」の学習で、保護者へ「廿日市のすてき発表会」の招待状を書いた。
- ・総合的な学習で「廿日市のすてき発表会」を行った。Google スライドを活用し、保護者や地域の方に向けてプレゼンテーションを行った。

児童生徒の姿（○）、児童生徒による振り返り（◇）

- 体験学習や調べ学習をする中で、廿日市の素敵なおところをもっと見つけたいと意欲を高めた。
- Google スライドを活用し、聞き手の興味を引く工夫をするなど分かりやすく伝える発表用スライド資料を作成し、プレゼンすることができた。
- ◇廿日市には、自慢できることがたくさんある。廿日市以外の人に廿日市の良いところを教えていきたい。
- ◇私たちが大人になって、廿日市で働くと、廿日市はもっと楽しくて素敵なまちになると思う。

